

## 「うるわしのみち 愛宕古道街道を良くする会」 推進協議会活動概要について

「うるわしのみち 愛宕街道古道を良くする会」推進協議会

代表 上村 多恵子 ○松山 和子 ○今井 昌代

### 1. これまでの活動内容と今後の展開

愛宕街道の自然、歴史、文化、風景をテーマとして、NPOうるわしのまち・みちづくり、嵯峨野保勝会、研究者等が基盤となって多様な来訪者との交流を重ね、地域の魅力の発信と再発見を重ねながら、美しい地域と魅力的な道空間創造を重ねている。ワークショップや外部アドバイザー招聘を通して、地域住民や来訪者の愛宕街道の理解を深め、活動の活発化を図っている。リーフレットの作成や地域再発見ワークショップを通じた即地的な課題（道しるべ、空間演出等）の抽出を行っており、その実現化に向けた景観検討を進めている。

NPOうるわしのまちみちづくりから地域の嵯峨野保勝会が指定管理者を引継ぎ伝統的建築の保存、観光資源としての活用を目指して京都市嵯峨鳥居本まち並み保存館の管理運営を行っている。



風景街道「たんば三街道」  
推進協議会との意見交換



まちなみワークショップの  
開催



現状



提案色に

自動販売機の色調・デザインのシミュレーション例

### 2. 活動の目標とその達成状況

「愛宕街道（京都鳥居本）」の地域資源の抽出・整理、景観阻害要素の改善の提案、そしてホスピタリティを具体化する装置として、道しるべ等のデザインの検討を行っている。景観を阻害する自動販売機の具体的なデザインを試み、比較的容易な景観配慮型取組として、期待できる結果となった。

意見交換会として、風景街道「たんば三街道」推進協議会「たんば道えにし」の視察を受け実施し、相違点を踏まえたうえで、外から見た街道の特徴、生かすべき資源、資源の発信方法についてアイデアラッシュを行うことができた。また、町並みワークショップの開催（地域住民及び外の目から地域を客観的に眺め課題等抽出）により、担い手の面で多くの課題が明らかになり、外部の技術と知恵を活用する必要性を認識した。

### 3. 活動の体制

推進協議会の参加パートナー：嵯峨野保勝会・NPOうるわしのまちみちづくり・京都市

### 4. 活動の体制

- ・活動の主体は、NPO法人うるわしのまち・みちづくり、地元の嵯峨野保勝会が緊密なパートナーを構築して進めている。
- ・活動にする費用は、調査研究等多様な主体が連携して取り組む物については各種調査助成を活用している。魅力的な観光地としてのホスピタリティ創出費用、オリジナルグッズの開発、地元まちづくりとしての展開は地元保勝会の負担で行っている。

## 愛宕街道(京都嵯峨鳥居本)

「もてなし空間、歴史のまち、憩いのみち」に向けて

うるわしのみち 愛宕古道街道を良くする会推進協議会

- 嵯峨野保勝会
- NPO法人うるわしのまち・みちづくり
- 京都市都市計画局



活動テーマ

「もてなし空間、歴史のまち、憩いのみち」に向けて

古来より人々の暮らしを守る 火伏の神へ詣でる道

- ・ 眺めていたい自然がある
- ・ 触れてみたい歴史がある
- ・ 歩いてみたい街角がある

懐かしさの風景の向こうに明日が見える

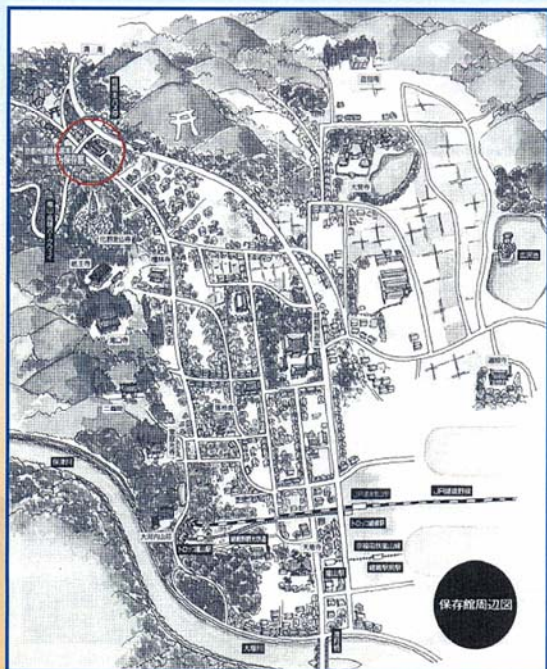
- ・千年の歴史が息づく京都嵯峨鳥居本
- ・地域の景観を愛し守る心を次世代に受け継ぐ
- ・取組みを推進しています！





## 京都嵯峨鳥居本町並み保存館指定管理者

### 保存館周辺図



### 指定期間

平成18年4月1日～

### 所在地

京都市右京区嵯峨鳥居本仙翁町8番地1他



保存館は、愛宕街道と瀬戸川にはさまれたこの地に明治の初め頃に建てられた民家を、一般の方々が見学できるように修理や整備をしたものです。

### 愛宕古道街道灯しの開催8月23日、24日

毎年、化野念仏寺の千灯供養と地藏盆にあわせて、街道を行灯・提灯のあかりが照らします。京の盂蘭盆会の風物詩でもあります。嵯峨野の美しい自然は貴人たちの隠棲の地として好まれたそんな町にふさわしい祭りとして大勢の方々に楽しんで欲しいと始められ、毎年、地元の小学生が灯籠の絵を描いています。点灯式には、この地に庵を構えられている瀬戸内寂聴さんが点灯と講話をされ、大勢の方が参拝に来られます。





### ①これまでの活動内容と今後の展開

愛宕街道の自然、歴史、文化、風景をテーマとして、NPOうるわしのまち・みちづくり、嵯峨野保勝会、研究者等が基盤となって多様な来訪者との交流を重ね、地域の魅力の発信と再発見を重ねながら、美しい地域と魅力的な道空間創造を重ねている。ワークショップや外部アドバイザー招聘を通して、地域住民や来訪者の愛宕街道の理解を深め、活動の活発化を図っている。リーフレットの作成や地域再発見ワークショップを通じた即地的な課題(道しるべ、空間演出等)の抽出を行っており、その実現化に向けた景観検討を進めている。

NPOうるわしのまちみちづくりから地域の嵯峨野保勝会が指定管理者ぎ伝統的建築の保存、観光資源としての活用を目指して京都市嵯峨島まち並み保存館の管理運営を行っている。



風景街道「たんば三街道」推進協議会との意見交換



まちなみワークショップの開催

### ②活動の目標とその達成状況

「愛宕街道(京都鳥居本)」の地域資源の抽出・整理、景観阻害要素の改善の提案、そしてホスピタリティを具体化する装置として、道しるべ等のデザインの検討を行っている。景観を阻害する自動販売機の具体的なデザインを試み、比較的容易な景観配慮型取組として、期待できる結果となった。

意見交換会として、風景街道「たんば三街道」推進協議会「たんば道えにし」の視察を受け実施し、相違点を踏まえたうえで、外から見た街道の特徴、生かすべき資源、資源の発信方法についてアイデアラッシュを行うことができた。また、町並みワークショップの開催(地域住民及び外の目から地域を客観的に眺め課題等抽出)により、活動の担い手不足と養成、活動資金の面で共通課題が明らかになり、外部の技術と知恵を活用する必要性を認識。



自動販売機の色調・デザインのシュミレーション例

## 今後の取り組みと課題

#### 【工夫している点】

- 常に来訪者の視点に立って、客観的に「ニーズ」と「シーズ」のマッチング方法を検討している。
- 地域の組織が基盤となりつつも、積極的に外部との交流を展開し、智恵や情報を積極的に収集している。

#### 【課題】

京都の著名な観光地である嵐山と隣接しながらも、愛宕街道まで足を運ぶ人は限られている。より深い京都を求める人が来訪する「隠れた静かな場所」という他にはない魅力をもたらしているものの、より多くの方が訪れ、この地域の魅力を知り、交流を重ねたいという地元の要求も強い。このバランスをいかに保ちながら、よりよい環境整備、情報発信を図るかにあつての整合性が課題となっている



オリジナルグッズ嵯峨の香り